

日本菊花全国大会への出展示

フラワーファクトリ科 3年 上田あさみ 梅田宙 江本涼那 大西悠太
小林沙依 徳田拓海 戸田柚衣 橋本魁治
山南寧々
2年 石丸ゆきあ 岡部心菜 尾上大雅
河村空輝

1. はじめに

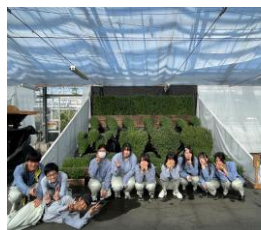
草花B班では毎年日本菊花全国大会への出展、入賞を目指し様々な菊の栽培を行っている。全国の菊作り名人が出展する大会であり、菊作り日本一を決める大会である。大会は三本立て花壇、福助花壇、盆栽花壇、小品盆栽花壇、特作花壇、三本仕立単鉢、切花、組花、ダルマ作りの9部門で構成されている。草花B班2年生は福助花壇、3年生は三本仕立単鉢学校の部、2、3年合同で特作花壇の部に出品している。今年度も出品し、上位入賞を目指した。

2. 特作花壇の作成

今までの作品を参考に花壇の設計をし、壁菊と大、小の懸崖菊を強調することができるデザインにした。草花B班で作成する大、小の懸崖菊、3年草花で作成するポットマムなどを組み合わせて作る作品にした。

3年草B班でイメージ図を作成し使用する菊や色を選別し、設営前日に学校で実際に組み立ててみてイメージをつけて当日の設営に臨んだ。当日は高さを上げるための台の設置から始まり、それが終わると、まずは壁菊を一番後ろに配置し高さを一番高く設置した。そして、壁菊の前に大、小の懸崖菊を高さと角度を調整し並べた。角度をつけるために鉢の後ろにワイヤーを設置する作業が難しく時間かかった。最後に一番前にドーム菊とプランター菊をバランスよく設置した。

設営当日、例年であれば3年生全員と2年生の希望者が会場で設営するが、2年生が修学旅行中であったため、3年生だけで行うことになった。設営前にはリハーサルしていましたがその場その場で変更することがあり思ったよりも苦戦しましたが、最後はとても良い作品を設営することができた。



3. 結果

特作花壇は和泉市議会議長賞を、三本仕立てでは和泉市教育長賞を受賞することができた。

4. 終わりに

今回、審査当日に満開を目指すために例年よりも早い時期に栽培し誘引を行っていったが審査当日は5割くらいしか開花しなかった。この反省を活かして来年は審査当日に満開に近づけるために10月後半に開花する品種を選んで栽培していくことがよいと考える。

